

◆埼玉県ネットトラブル注意報 平成27年10月号

「インターネット上で知り合った人物と会うことの危険性について」

インターネットでは、普段なかなか知り合う機会のない人とも気軽に交流することができます。なかには、やりとりを重ねるうちに仲良くなり実際に会う、というケースもあります。

昨年、ベネッセ教育総合研究所が発表した、中学1年生～高校2年生、合計9468名を対象にしたICTメディアの利用実態に関する調査の結果によると、中学生の163人、高校生では512人の生徒が、「インターネットを通じて知り合った人と、直接会ったことがある」と、回答したそうです。

ベネッセ教育総合研究所

中高生のICT利用実態調査 2014 報告書

<http://berd.benesse.jp/shotouchutou/research/detail1.php?id=4377>

しかし、インターネット上のやりとりだけでは、相手がどのような人物か分かりません。そのため、実際に会うことは大変危険です。

【インターネット上での悩み相談から性的被害に】

過去に、女子中学生がインターネット上で知り合った40代の男からホテルでわいせつな行為をされるという事件が起きました。男は、この女子生徒以外にも、40人ほどの小中高生に、同様の行為を行っていたようです。

男は年齢を隠して、同世代と偽り、少女たちのブログに頻繁にアクセスし、悩んでいる様子の文章を見つけては、書き込みを行って悩み相談に乗り、少女たちを信用させてから、メールアドレスなどの連絡先を聞き出し、少女たちを誘い出していたとのことでした。

【被害に遭わないためには】

最近では、出会い系サイトではないブログやSNSなどの一般のコミュニティサイトでも誘い出しの被害は多く発生しています。

長い時間をかけてやりとりをし、十分に信用させておいてから誘い出すような悪意を持った人物もいます。ネット上でどれだけ仲良くなった相手でも、安心してはいけません。

埼玉県教育局県立学校部生徒指導課